

胆江地域災害医療実地訓練

JR水沢駅における傷病者搬送訓練 およびDMAT出動訓練を実施



ボランティアや院内スタッフの皆さん、ご参加いただきありがとうございます！



的確なトリアージをするスタッフ

平成29年11月11日、胆江地域災害医療実地訓練が開催されました。初めに、訓練にご参加頂いたボランティアの皆様、訓練にご協力頂いた一関駅・水沢駅の皆様に厚く御礼申し上げます。

奥州保健所、奥州金ヶ崎消防本部等関係各所と春から数回の話し合いを重ね、各病院における訓練（情報伝達訓練、傷病者トリアージ訓練など）、JR水沢駅における傷病者搬送訓練、およびDMAT出動訓練を行うことが決定。DMATは奥州病院、水沢病院、胆沢病院から派遣することになりました。

当院では、約100名の院内スタッフおよび35名のボランティア（防災みなみ、水沢学苑看護専門学校、国際医療福祉専門学校一関校）に参加して頂き訓練を施行。13時に訓練放送が入り、頭を災害モードに切り替え。勝又院長＝災害対策本部長の災害宣言を皮切りに、大会議室に災害対策本部を開設。アクションカードを参照に、各本部員の役割分担を行い、それぞれが仕事を開始しました。今回の訓練では、クロノロの記載、EMIS入力（Emergency Medical Information System：広域災害救急医療情報システム）、診療部門との連携に重点をおいて頂きました。クロノロ記載は勉強会の参加をしてくださった方や、雷災害時に実際に活動した事務の方がいらっしゃったので、かなり見やすいものが記載されていました。EMISには病院の被災状況、受け入れ可能患者数などを登録する必要がありますが、リアルタイムに更新。診療部門との連携は伝令・PHS・院内情報共有システムの3つを活用して情報のやりとりができていました。

診療部門では外来診療責任者である外科楠田先生を中心に、各リーダーおよび担当者の指名、トリアージポストおよび赤・黄・緑の診療エリアを設置。その後、各トリアージポスト・各診療エリアで模擬患者のトリアージ、診断・治療を行って頂きました。患者一覧表作成、本部との情報のやりとりに重きを置いて頂き、患者の情報が本部に正確に伝わり、入院・転院搬送まで進んでいました。実際の災害時は診断・治療にさらに時間がかかるでしょうし、入院や転院搬送も訓練のようにスムーズにいかない可能性がありますが、今回の訓練が必ず役にたつものと考えています。参加したスタッフの皆様本当にお疲れ様でした。今後ともよろしくお願いたします。

時間	内容	担当	備考
13:00	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:05	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:10	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:15	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:20	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:25	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:30	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:35	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:40	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:45	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:50	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
13:55	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:00	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:05	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:10	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:15	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:20	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:25	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:30	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:35	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:40	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:45	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:50	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
14:55	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可
15:00	集合	安室 敬	集合場所 全7棟 確保可

見やすいと評価が高かったクロノロ記載

災害医療科長 忠地 一輝